

令和4（2022）年度 生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ 実施報告①

実施日：令和4年7月14日（木）

第1回はオンラインで実施しました。

○ 説明「障害者の生涯学習推進のために～国の計画や本県の推進の方向性について～」

栃木県教育委員会事務局生涯学習課副主幹 黒尾 貴英

黒尾副主幹からは、障害者の生涯学習を推進する意義から始まり、障害者の学びを取り巻く現状と課題、障害者の生涯学習を推進するための方策や早急に実施すべき取組などについて説明がありました。

その後、国の教育政策に関する基本的な方針を示した「第3期教育振興基本計画（2018～2022）」の中にある障害者の生涯学習の推進について話があり、特に同計画の教育政策目標の一つとして「障害者の生涯学習の推進」が初めて掲げられたことを強調していました。

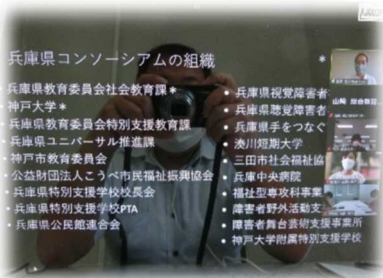
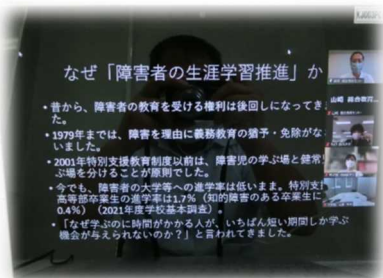
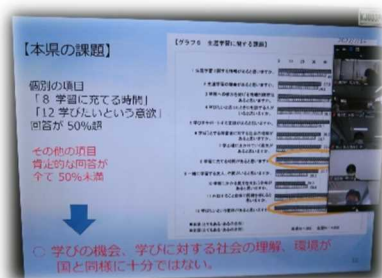
最後に、本県の障害者の生涯学習の推進の方向性と今後の支援方策について話があり、受講者は自分の業務を振り返りつつ、どのように推進していけばよいかを考えていました。

○ 講話「障害者の生涯学習推進～共生社会の実現に向けて～」

神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授 津田 英二 氏

津田先生は文部科学省「学校卒業後における障害者の学びの推進に関する有識者会議」とその後設置された「障害者の生涯学習の推進を担う人材育成の在り方検討会」の委員を務めました（在り方検討会では座長を務める）。その経験から、障害者の生涯学習の推進に関する国の考えや会議などで議論された内容などについて話がありました。また、2006年に国連総会で採択された「障害者権利条約」（日本は2014年に批准）にも触れ、障害者の生涯学習を推進する世界的な流れなどについても解説がありました。

その後は、兵庫県と本県がそれぞれ実施した障害者の生涯学習に関する調査結果（本県の調査結果は栃木県社会教育委員会議事報告書から抜粋）や兵庫県コンソーシアムの取組についての説明などがあり、受講者にとって学びの多い研修となりました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・ 障害のある方にとっても、家族の方にとっても、居場所がどれだけ重要なのかを理解することができました。
- ・ 津田先生の講話をヒントに、障害者が生涯学習に取り組む講座を企画したいと思いました。
- ・ 普段の業務で障害のある方と接する機会がないため、具体的に何をすればよいのか悩んでいました。今回の研修で学んだことを今後の業務に生かそうと思います。
- ・ 津田先生の講話を聴講して、色々と考えることができました。また、読書バリアフリー法についても聴くことができ、参加して良かったと思います。
- ・ 自分の業務に障害者の生涯学習を結びつける努力を心掛けようと思いました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp